



HABIKINO

広 報

2 2018
FEBRUARY No.676

2018年2月1日発行

発行 羽曳野市 市長公室 秘書課
〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1
072-958-1111 (代表)

URL <https://www.city.habikino.lg.jp/>
E-mail mailbox@city.habikino.lg.jp

●音声版「声の広報」は市ウェブサイトからダウンロードできます。

●今月の表紙

春の到来を告げる梅の花。春は名のみで寒い日が続きますが、冷たい空気の中、凛と咲く梅の花の姿に季節がやわらいていくのを感じることができます。

も く じ

- 2 市長挨拶
- 3 60周年事業／健康フォーラム
- 4 富田林税務署からのお知らせ
- 5 市・府民税の申告など
- 6 LICウェルネスゾーン
- 7 多世代交流／防火管理講習 ほか
- 8 公開シンポジウム／市民活動フェスタ
- 9 国民年金／かかりつけ健康メール／東洋医療
- 10 石川クリーン作戦 ほか
- 11 消費生活Q&A／きらきらシニア ほか
- 12 市民大学
- 13 図書館だより／サラダボール
- 14 すくすく子育て支援
- 16 健康ふぁみりー
- 18 街かどから／こんにちはあかちゃん
- 20 LICはびきの
- 21 制度／お知らせ／募集など
- 29 相談窓口
- 30 市民のページ／風流韻事
- 31 社会福祉協議会／
シルバー人材センター／はびきの警察



羽曳野市

市章は“羽”の文字を抽象的に図案化し、シンボルに表現したもの。鳥のはばたきのような市の雄飛と発展性を示しています。

面積…26.45km²

人口…112,719人(前月比 ▲40)

男… 53,689人

女… 59,030人

世帯… 49,743

(平成29年12月31日現在)

豊かな人間性をはぐくむために



梅のつぼみもまだ堅い2月、子どもたちは3学期も半ばを迎えています。本市では今年度も、子どもたちに自学自習の場を提供する2つの市独自の事業を実施してまいりました。「はびきの中学生 study-O」にはこれまでに東西教室あわせて延べ1,025名が参加、また夏休みの小学校で実施した「はびきの夏スタ!」(全14小学校各2日間実施)には、延べ737名が参加してくれました。

情報化やグローバル化が一段と進展する時代、教育のあり方は「より多くの知識と決まった正解を教え込むこと」から、「自ら思考する力・表現する力・判断する力をはぐくむこと」への転換が求められています。

2014年、当時17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの父、ジアウディンさんは、子どもの育て方の秘訣を尋ねられたときこう答えたそうです。「私が何かしてあげたのではなく、あることをしなかつたおかげでしょう。彼女の『翼』を切り取らなかつた…それだけです。」と。

これからも、子どもたち一人ひとりが持つ個性、能力を信じ、尊重し、多様な選択ができる環境づくりを大切にしたいと思います。

羽曳野市長 北川 嗣雄

関西一円に“羽曳野の魅力”を発信!

J:COMチャンネルの地域情報番組「ジモト満載 ええ街でおま!」の生放送に出演し、原商工会会長、金銅河内ワイン社長らとともに本市の魅力をPRしてまいりました。

同日LICはびきので開催の世界遺産登録応援イベント「古墳 DE るる」と中継を結んだ放送となりました。



▲司会の笑福亭鶴光さん、田口万莉さん
▲キャラクター達も応援に大集合